

男女共同参画推進事業【千葉県】

個別事業費	2,938 千円
交付金額	1,468 千円

地域の実情と課題

仕事と家庭生活の両立のために必要と思う環境整備について、県民に調査した結果、「男女が共に家事等の家庭的責任を負うという意識改革」が54.7%と最も多く、次いで「管理職の意識、代替要員の確保など、制度を利用しやすい職場環境を整備すること」が32.1%と多かった。

男女共同参画社会の実現のためには、社会全体にいまだ根強く残る性別役割分担意識を変えていくことが課題であり、ワークライフバランスや両立支援などの環境づくりとともに、意識の変革についても進めていくことが重要である。

そのためには、企業・団体、市町村など様々な主体と緊密に連携しながら、男女ともに活躍できる環境づくりに取り組む必要がある。

目的・目標

【目的】 本県における女性の活躍を効果的かつ円滑に推進するため、女性活躍推進法に基づく協議会として設置した「女性活躍推進特別部会」において、構成団体の有用な取組について、情報共有を図るとともに、女性活躍支援策やワーク・ライフバランスの普及促進等についての取組を推進する。

【目標】 「今後、具体的な取組を進めたいと思った」人の割合
シンポジウム 70% 異業種交流会 70%

【実績】 シンポジウム 84.7% 異業種交流会 81.5%

事業の特徴

組織のリーダーの方々の意識変革を、具体的な行動に繋げるため、実務レベルの現場リーダー等を対象とした一連の事業として、より実践的な職場環境づくりや人材育成等の取組につながることを目的としたシンポジウム及び異業種交流会を実施する。

組織全体に取組を浸透させるため、R6年度は組織のリーダーを、R7年度は実務担当者をターゲットに事業展開する。

連携団体

【千葉県男女共同参画推進連携会議 女性活躍推進特別部会】

- ・千葉県(多様性社会推進課・雇用労働課)
- ・千葉労働局 ・市長会 ・町村会 ・経済団体13団体

事業の効果

参加者アンケートにおいて93%の人が「非常に満足」または「満足」と回答した。

今後の課題

実務に活かしやすい取組事例の共有を充実させるとともに、業種や規模に応じて参考となる具体例を整理していくことが求められる。さらに、事業参加後のフォローアップについても、参加者アンケートやフォローアップ調査を分析し、事業のブラッシュアップに繋げる。

男女共同参画シンポジウム “気づき・共感”から、いざ“実践”へ（令和7年10月7日）
 （千葉県男女共同参画推進連携会議 全体会・女性活躍推進特別部会）の開催

組織のリーダーの方々の意識変革を、具体的行動に繋げるため、実務レベルの現場リーダー等を対象として、より実践的な職場環境づくりや人材育成等の取組につながることを目的とし、広く県内企業や関係団体等を対象に、女性活躍に向けた環境づくりなどの理解を深め、取り組んでもらうため、連携会議全体会と合同で基調講演と取組事例発表を実施。

内容 <第1部> 基調講演
 「ワーク・ライフ・バランスの実現のために必要な取組とは？」
 講師 瀧井 智美 氏（株式会社ICB 代表取締役）

<第2部> 取組事例発表

①「DLファミリーデー(子ども参観日)」を活用した育休取得者の復帰支援
 大和リース株式会社千葉支店 管理部 営業管理課 課長代理 馬立 恵理子 氏

②父親の育児参加を促し保育活動全体に好影響をもたらす「おやじの会」の活動 ほか
 千葉県保育協議会 副会長 鈴木 まひろ 氏

会場 千葉県教育会館 新館2階 大ホール

無料
要申込

“気づき・共感”から、いざ“実践”へ
男女共同参画シンポジウム

家庭・職場・地域などで誰もが自分らしく活躍するために、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組の実践や今から役立つ取組事例などについてふれていきます。

令和7年 10月7日(火) 14:00~16:00
 千葉県教育会館 新館2階 大ホール (受付開始13:30)

第1部 基調講演 14:00~15:00
 ワーク・ライフ・バランスの実現のために必要な取組とは？

講師 瀧井 智美 氏 株式会社ICB 代表取締役

第2部 取組事例発表(2団体) 15:10~16:00

1 「DLファミリーデー(子ども参観日)」を活用した育休取得者の復帰支援 ほか
 大和リース株式会社千葉支店 管理部 営業管理課 課長代理 馬立 恵理子 氏
(令和6年度千葉県男女共同参画推進連携会議で千葉県事業発表)

2 父親の育児参加を促し保育活動全体に好影響をもたらす「おやじの会」の活動 ほか
 千葉県保育協議会 副会長 鈴木 まひろ 氏
(千葉県男女共同参画推進連携会議 全体会 参加発表)

定員 100名(先着順) 開催会場 千葉県教育会館 新館2階 大ホール
千葉県千葉市中央区中央4丁目13番10号

対象者 会社管理職の指導の他、一般の方々もご参加いただけます。 問合せ先 千葉県多様性社会推進課 男女共同参画室
〒043-2233-2379
 電話 043-2233-2379
 Eメール huyod@kz.pref.chiba.lg.jp

申込方法 申込 令和7年9月30日(火)

右記の二次元コードまたは千葉県内の専用申込フォームからお申し込みください。
申込締切日、当日定員に達した場合は先着順で締切となります。

主催：千葉県・千葉県男女共同参画推進連携会議

女性活躍推進のための異業種交流会(市川市開催)
 (千葉県男女共同参画推進連携会議産業部会
 ・女性活躍推進特別部会の合同開催)

(令和7年12月22日)

様々な業種の県内企業経営者等を対象に、職場での女性活躍に向けた環境づくりの成功事例を共有し、実践的な取組につなげていくことを目的とした講演と交流会を実施。

内容 <第1部> 基調講演
 「ワーク・ライフ・バランス実現のステップ
 ～形ばかり・一過性のものとしなため～」
 講師 瀧井 智美 氏 (株式会社ICB代表取締役)

<第2部> 交流会
 「今日から始める！ワーク・ライフ・バランス実現のためのアクションプラン」
 グループに分かれ、ファシリテーターを中心に、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた取組をテーマに、KPTを用いた意見交換を行いました。
 [Keep] 具体的に取り組み始めていること、工夫していること
 [Problem] なかなか進まないこと、職場の課題・葛藤・悩み
 [Try] 自分に必要なこと、組織に必要なこと、解決策、推進アイデア

会場 山崎製パン企業年金基金会館

